

情報社会学科 オリエンテーション

※指定の席に着席してください。

<http://open.shonan.bunkyo.ac.jp/kyomu/>



BUNKYO UNIVERSITY

情報社会学科を卒業するまでに必要なことを説明します。

説明の前に…

- ①オリエンテーション日程をご確認ください。
- ②履修登録日程をご確認ください。
- ③授業日程をご確認ください。

●新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、もともと予定していたスケジュールがすべて変更されています。

●今後の変更などは、ホームページやメール、Bibbsで連絡しますので、こまめに確認してください。

授業を受ける前に……

自分で時間割を作成



Bibbsに時間割を登録(履修登録)



授業を受けることができる

履修のてびき
P.10-13

- 大学では高校までとちがい、自分の時間割は自分でつくることになります。
- 受ける授業を選ぶ手続きを「履修登録」(りしゅうとうろく)といいます。
- 文教大学の履修登録は、インターネット上で行います。
- 履修登録をしていないとその授業を受けることはできません。
- 履修登録の期間は毎学期決められており、期間外に受け付けることはできません。

●カリキュラム

所属の学部(学科)等に定められた授業科目のこと。

⇒授業科目を選択、履修し、卒業に必要な単位を満たす。

※入学年次によって異なる場合があります。

●単位修得

履修登録をし、登録科目の授業をきちんと受け、

内容を理解し、試験に合格すると単位が修得できる。

●セメスター制度

1年間を春・秋の2学期に分け、各学期(セメスター)ごとに

授業が完結する制度。

履修のてびき
P. 10-13

- カリキュラム(卒業までになんの科目に合格すればよいか)は、所属する学科や学年によって異なります。
- 卒業までには、科目に合格し必要な「単位」をそろえなければなりません。
- 「単位」の説明は、『履修のてびき』10ページで確認してください。基本的に、1回90分の授業を15週間受け、各授業の試験に合格することで単位を得ることができます。
(授業の回数や単位数は科目により異なる)
- 文教大学は「セメスター制度」を採用しており、1年間を春学期・秋学期に分け、1年次春学期を1セメスターとし、4年次秋学期を8セメスターと表現します。

= 注意 =

- * 決められた期間に、きちんと履修登録をしないと、
授業を受けることができない。除籍になることもある。
- * 出席が足りなかったり、課題を提出しない場合は
試験を受ける資格を失う。
- * 出席や課題が足りていても、試験の成績が悪かったり等
すると、単位は与えられない。

履修のてびき
P.12

- 成績評価の基準は『履修のてびき』12ページで確認してください。評価「C」以上で合格→単位を得ることができます。
- 出席不足だと評価そのものがもらえません(「F」となる)。授業回数の2/3以上の出席が必要です。(1/3までなら休んでよい、という意味ではありません!! また、すべて出席したからといって単位が出るわけではありません。あくまで合格しなければなりません)
- 整理すると、
 - ①履修登録をする
 - ②きちんと授業に出席して取り組む
 - ③試験や課題等に合格する
 - ④単位を得られる

以上を4年間積み重ねることになります。

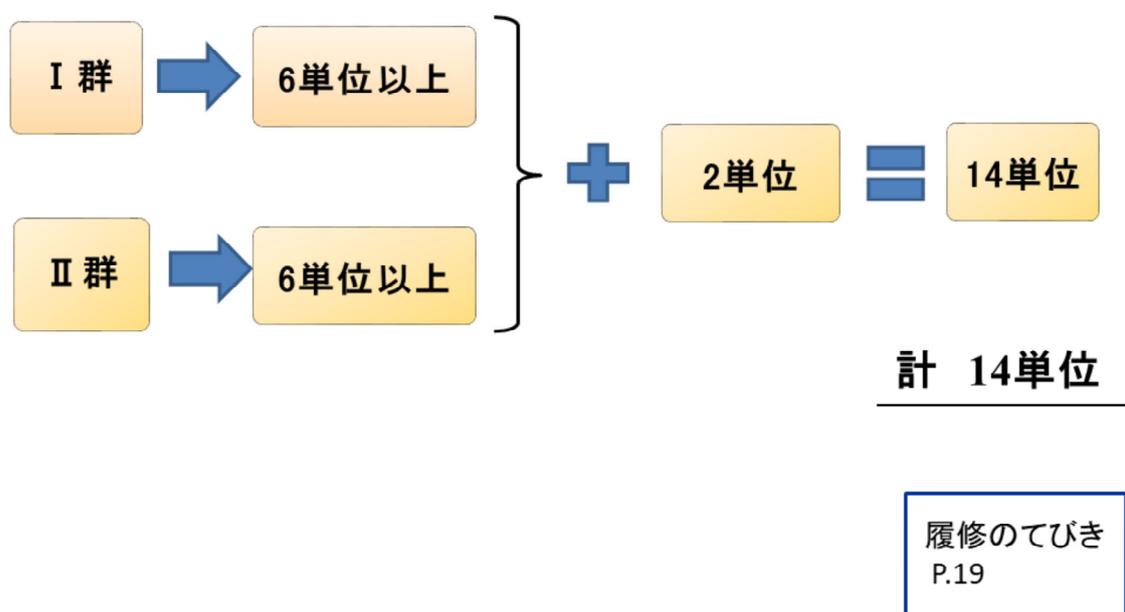
4年以上在学し、下記の単位を修得しなければ、
卒業できない。

■ 共通教育科目	14単位
■ 外国語科目	6単位
■ 専門教育科目	104単位

合計 124単位

履修のてびき
P.18

- 情報社会学科を卒業するための単位数は『履修のてびき』18ページのとおりです。
- 合計**124単位**が必要で、1単位でも足りないと卒業できません。
- 合計だけでなく、科目区分ごとに必要な単位数も決まっていますので、それもクリアしなければ卒業できません。



- 『履修のてびき』19ページは、「共通教育科目」の説明です。
- I 群と II 群にわかれており、I 群から6単位以上、II 群から6単位以上の取得が必要です。
- そのうえで、I 群でも II 群でもよいのでさらに2単位を修得し、合計で14単位を修得することが必要です。

群	科目	単位	開講セメスター			
			1	2	3	4
			1年次		2年次	
I	哲学	2	○	○		
	倫理学	2	○	○		
	日本国憲法 ※	2	○	○		
	音楽	2	○	○		
	文学	2	○	○		
	美術	2	○	○		
	人間関係論	2	○	○		
	心理学	2	○	○		
	スポーツ科学	2	○	○		
	スポーツ・健康演習 ※	2	○	○		
II	社会学入門	2		○	○	
	経営学入門	2		○	○	
	経済学入門	2		○	○	
	法学入門	2		○	○	
	宗教学入門	2		○	○	
	情報倫理とモラル	2		○	○	
	数学入門	2		○	○	
	技術と人間	2		○	○	
	生命科学	2		○	○	
	現代社会のエネルギー論	2		○	○	
合計						14単位

表中の○は・・・

「このセメスターから開講・履修可能となり、これ以降の学年でも、同学期で履修できる」という意味

※このセメスターのみ開講という意味ではないので注意！

例)「哲学」

○は1・2セメスターにある。
⇒1年次から履修可能かつ、
春学期・秋学期も開講される。

⇒2年次以降も春・秋で履修可能！

履修のてびき
P.19

- 『履修のてびき』の科目表には○印が入っています。これは、「そのセメスター以降に履修できる」ことを意味しています。
- 1年生のみなさんは、いま春学期「1セメスター」にいますので、「1セメスター」のところに○が入っている科目を履修できます。
- たとえば、「哲学」や「スポーツ科学」は履修できますが、「社会学入門」はまだ履修できません(2・3セメスターに○があるため。秋学期から履修できます)。
- また、○のセメスターを過ぎてしまった場合でも、履修できます。
- たとえば、「哲学」は、1・2セメスターに○がついていますから、春学期も秋学期も授業があるということになります。
- つまり、「哲学」は、来年も、新しく入学してくる1年生(みなさんの後輩)が履修できる形で授業が行われ、みなさんもそれを履修できます。

■ 卒業までに、**6単位**修得

外国語Ⅰ（必修）： 2単位

外国語Ⅱ（必修）： 2単位 **合計 6単位**

外国語Ⅲ（選択）： 2単位

→卒業要件以上修得した科目の単位は、
最大**2単位**を、専門選択科目の単位として充当できる。

※留学生は日本語会話・日本語読解・日本語作文（各2単位）
から6単位の修得が必要。

履修のてびき
P.20

- 『履修のてびき』20ページでは、「外国語科目」について説明しています。
- 「外国語科目」は、**合計6単位**を修得する必要があります。内訳はスライドのとおりです。
- 区分Ⅰ・Ⅱは必修で、あらかじめクラス分けを行ったうえで、**自動的に履修登録されています**。指定された授業を履修してください。
- 区分Ⅲは選択科目で、2年生以降に「情報英語A」～「D」のうち2科目を修得する必要があります。
- 留学生入試で入学した人は英語科目ではなく、「日本語会話」「日本語読解」「日本語作文」のすべてを修得する必要があります。
- また、6単位より多く修得した外国語科目の単位は、2単位まで「学科選択科目」（あとで説明します）に含めることができます。1年生のうちは気にしなくてよいかもしれません。

＝注意＝

* 履修するに当たって条件が設定されている科目がある。

例：英語ⅡAと英語ⅡBは、英語ⅠAと英語ⅠBの両科目の単位を修得後、履修可能です。

履修のてびき
P.20

- 「外国語科目」を履修するうえでの注意点です。
- 「英語ⅡA」「英語ⅡB」は、「英語ⅠA」「英語ⅠB」の両方を修得しないと履修できません。
- つまり、1セメスターに「英語ⅠA」は合格したが「ⅠB」が不合格であったような場合は、2セメスターで「ⅡA」「ⅡB」を履修できません。
- 同じく、「情報英語」は、「英語ⅡA」「英語ⅡB」の両方を修得しないと履修できません。
- なお留学生専用科目、「日本語会話」「日本語読解」「日本語作文」に順序はありません。

■ 卒業までに、**下記単位数**を修得

学部共通	：	6単位	}	合計104単位
必修	：	44単位		
選択	：	54単位		

履修のてびき
P.18

- 情報学部と情報社会学科の専門科目について説明します。
- 情報社会学科では、専門科目**104単位**を修得する必要があります。内訳は、スライドのとおりです。
- 各科目区分それぞれに必要な単位数が決まっていますのでご注意ください。

■ 学部共通科目

→同一セメスターでは、**2科目4単位**まで、履修することができる。

→卒業要件以上修得した科目の単位は、**最大6単位**を、専門選択科目の単位として充当できる。

履修のてびき
P.21

- 『履修のてびき』21ページで「情報学部共通科目」について説明しています。
- 2セメスター(1年次・秋学期)から履修できるようになります。
- ほかの学科の学生も履修する科目なので、人数が多くなり過ぎないように、**各学期で2科目までしか履修できません。**
- 卒業に必要なのは**6単位**です。
- 卒業要件(6単位)以上修得した科目は、さらに6単位まで、「学科選択科目」に含めることができます。

■ 必修科目

→落とすことのないように！

■ 選択科目

→下記科目は、選択科目に充当することができる。

他学科の専門教育科目 } 合計24単位まで
 他学部の専門教育科目 } (ただし、他学部は6単位まで)

履修のてびき
P.26

- 26ページ以降で、区分が「必修」とある授業は、情報社会学科専門科目の必修科目です。○印にしたがって、そのセメスターで必ず修得する必要があります。卒業までに44単位必要です。
- 必修科目はあらかじめクラス分けされ、自動的に履修登録されます。クラスの希望を聞くこともありますので、そのときには必要な回答をしてください。
- 27～28ページには、選択科目を掲載しています。卒業までに54単位が必要です。自分の興味や必要に応じて、好きな科目を選んでください。
- ここに載っている科目のほか、他学科や他学部の科目を学科選択科目として含めることができます。ただし、他学科・他学部の科目を含められるのは合計24単位までで、しかも他学部の科目は6単位までです。

＝注意＝

* 履修するに当たって条件が設定されている科目がある。

例：B. 「ゼミナールⅠ」は、48単位以上の単位を修得後、履修可能です。

C. 「ゼミナールⅡ」は、「ゼミナールⅠ」を修得後、履修可能です。

履修のてびき
P.26

- 『履修のてびき』26ページの中ほどを見てください。専門科目を履修するにあたっての注意事項です。
- 履修するために**条件のある科目**がありますので、くれぐれも注意してください。
- 5セメスター(3年次・春学期)必修の**「ゼミナールⅠ」**を履修するためには、**2年次秋学期までに48単位の修得**が必要です。
- おなじく4年次・春学期**「卒業研究Ⅰ」**を履修するには、3年次秋学期までに**90単位の修得**が必要です。
- また、つぎのように**履修の順序が決まっています**。
「ゼミナールⅠ」(5セメ)→「ゼミナールⅡ」(6セメ)
→「卒業研究Ⅰ」(7セメ)→「卒業研究Ⅱ」(8セメ)
- つまり、**2年次秋学期までに48単位を修得できなかつたり、途中「ゼミナールⅠ・Ⅱ」「卒業研究Ⅰ・Ⅱ」どれかの科目を修得できなかつたり、3年次秋学期までに90単位に達しなかつた場合は、自動的に1年の留年が決定します。**

情報システム学科

- システム開発領域
- 情報デザイン領域

情報社会学科

- コミュニケーション戦略領域
- プロジェクトマネジメント領域

メディア表現学科

- メディア表現領域

履修のてびき
P.33

- 情報学部では「専攻」制度をとっており、修得した科目によって「主専攻」と「副専攻」が認定されます。
- 専攻は各学科にスライドのとおり用意されています。
- なお、専攻は卒業とは関係ありません。専攻が認定されなくとも、ここまで説明した卒業の条件を満たせば卒業できます。

■主専攻

- 主専攻が認定される領域は**自学科**の領域
- 領域に配置された科目を**30単位以上**修得することで、主専攻と認定される。

履修のてびき
P.33

- 専攻制度の詳細は、『履修のてびき』33ページで確認してください。
- 「主専攻」は、自分が所属している学科の領域から30単位を修得すると認定されます。
- どの科目がどの領域なのかは、『履修のてびき』26～28ページの学科選択科目の表の右側に書かれています。
- 情報社会学科には「コミュニケーション戦略領域」と「プロジェクトマネジメント領域」があります。履修の参考にしてください。
- それぞれの領域から30単位以上を修得すると、それが主専攻として認定されます。ふたつの領域どちらも30単位以上修得すると、主専攻がふたつになります。

■副専攻

- 主専攻が認定されていないと、副専攻は認定されない。
- 副専攻が認定される領域は**自学科を含むすべての領域**
- 領域に配置された科目を**16単位以上**修得することで、副専攻と認定される。

履修のてびき
P.33

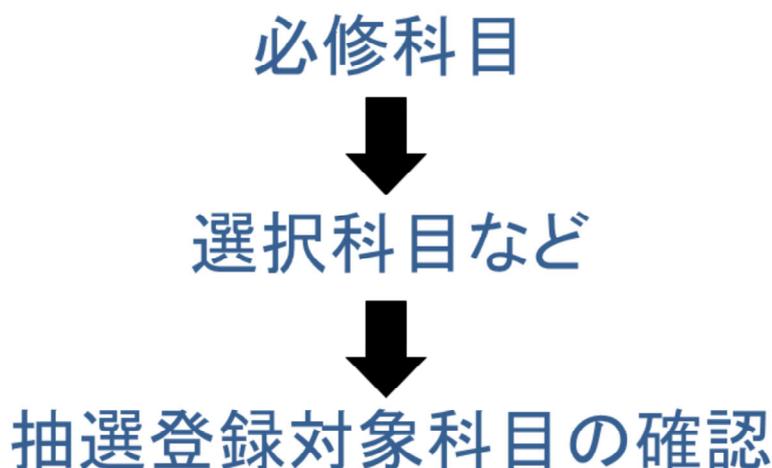
- 副専攻は、他学科も含めてそれぞれの領域から認定を受けることができます。必要なのは16単位です。
- 副専攻の認定を受けるためには、べつの領域で主専攻の認定を受けていなければなりません。(主専攻がないのに副専攻を認定することはできません)
- 必要な単位数を修得すれば、複数の副専攻が認定されることもあります。

= 補足 =

- * 主専攻と副専攻は、卒業要件ではない。
- * 主専攻と副専攻の事前登録は行わない。
→セメスターごとに成績を確認し、対象科目を履修し終えた時点で認定される。

履修のてびき
P.33

- 繰り返しますが、主専攻・副専攻は卒業の要件とは関係ありません。
- 主専攻・副専攻が認定されると、「単位成績証明書」などの証明書に記載され、就職活動などで活用できます。
- 認定は、各学期の成績発表のときに自動的に行われます。みなさんに「〇〇領域に認定されました！」という連絡はしません。



- 時間割の組み方(履修登録の考え方)を説明します。
- 時間割は、**必修科目→選択科目の順に考えます。**
- 必修科目は事前にすべて登録しておきますので、それにし
たがって授業を受けてください。
- 必修科目を確認したうえで、選択科目を選んでください。
- 選択科目のなかには、どうしても人数制限をしなければなら
ない科目があり、**定員を超えた場合は抽選**を行います。
情報学部はパソコンをたくさん使う関係で、抽選科目が多
くあります。
- 抽選科目に落選しても、つぎの学期やつぎの年度で申し
込めます。

＝注意＝

- * 指定されたクラスを選択しているか確認。
- * 定員欄に人数の記載がある科目は、**抽選登録が必要。**
- * 当選した**抽選登録科目は削除不可。**
- * 時間割の変更は、教育支援課HPで確認。

- 教育支援課のホームページに、必修科目のクラス分け表を掲載しますので、履修登録の画面では、指定されたクラスの授業が登録されているか確認してください。
- 語学科目は、あらかじめプレイメントテスト(casec)を受けていただき、その結果をもとにクラス分けを行います。**(2020年度はプレイメントテストを中止するかもしれません)**
- 抽選科目への申し込みは、ふつうの履修登録とはちがう画面で行う必要があります。
- また**抽選科目に当選した場合、その授業を削除することはできません。**慎重に申し込みを行ってください。
- 授業の学期・曜日・時限は『2020年度時間割』の冊子にまとめていますが、そこから変更があることがあります。**変更箇所は、教育支援課のホームページに掲載している『時間割』で確認してください。**

抽選登録1回目	4月15日18:00 - 4月15日22:59
履修登録	
抽選登録	:59
履修登録	
履修修正	:59

抽選登録・履修登録日程は調整中です。
決まり次第お知らせします。

- 登録2日
- 登録作業
- 日程に余裕をもち、登録作業を行ってください。

※お手元の『時間割』11ページを修正してください

時間割冊子
P.11

履修登録の日程は調整中です。別途お知らせします。

= 注意 =

- * 履修登録をしない場合、**除籍**となる。
- * **セメスターごと**に、履修登録が必要。
- * 履修できるのは、**各セメスター22単位まで**
※「情報処理実践演習A」(2単位)はこの上限には含まない!
→つまり、数字上は24単位まで登録できる。

履修のてびき
P.10-13

- 決められた期間に履修登録を行わないと、除籍になる場合があります。「除籍」とは、大学が強制的に学籍を失わせることです。
- セメスター制のため、学期ごとに履修登録を行っていただく必要があります。**今回の履修登録では春学期分のみ登録してください。**
- **各学期で履修登録できるのは、22単位まで**となります。履修する授業が多くなりすぎると、ひとつひとつの授業の理解がおろそかになるためです。
- ただし、前の学期で「AA」評価、「A」評価を18単位以上修得すると、つぎの学期は26単位まで履修が可能になります。
- 必修科目の**「情報処理実践演習A」は、上限22単位には含みません。**したがって、履修登録画面の数字上は24単位までOKということになります。

■ 実際の登録画面にて説明します。

- ・B!bb'sへのアクセス、ログイン。
- ・科目追加、削除、確定の手続。
- ・予備登録申請、申請取消の手続。
- ・予備登録が必要な科目(対象者のみ)。

⇒履修登録終了後は、印刷(もしくはスクリーンショット)にて、必ず記録を残しておくこと。

時間割冊子
P.9～12/巻末

- 抽選登録・履修登録について、実際の画面を用いて説明します。(例年はスクリーンに映して説明していますが、今回はこのファイルのほかに別のページを用意して説明します。別途ご連絡します。)
- 『2020年度時間割』の巻末に詳細な案内がありますので、そちらもご確認ください。
- 履修登録終了後は、印刷やスクリーンショットによりその状況をしっかり保存してください。

■ 特定有資格者に対する単位認定

申請書を教育支援課HPからダウンロード



「合格証明書」(証書は不可)

と共に教育支援課に提出

申請期間: **4月1日～4月12日(中止)**

教育支援課窓口開室時間内: 平日9:10～16:40

土曜9:10～11:30

時間割冊子
P.13

- 特定の資格を有している場合、申請により、大学の授業の単位を取得したものとみなすことができます。
- 資格と単位の関係は、『履修のてびき』122ページをご確認ください。
- また、申請方法は『2020年度時間割』9ページをご確認ください。
- 例年は年に4回の受付を行っていますが、**2020年度第1回(4月1日～10日)の受付は中止します。**
- なお、特定資格による単位認定は、申請時点の学期の単位として扱われますが、**履修登録単位数の制限には含みません。**

勉学状況が著しく低いと判断される学生に対し、
面談等が実施される。

例：1セメスター（1年春学期）終了時の総単位数が

12単位未満の場合

→保証人および本人に連絡し面談実施

→原則として、

3セメスター以降に開講される科目を履修することはできません。

履修のてびき
P.26、34

- 各学期の修得単位数により、勉学状況に問題のある学生には面談を実施することがあります。詳細は『履修のてびき』34ページをご確認ください。
- 1年次春学期は、「**修了時の総単位数が12単位未満：原則として保証人および本人に連絡して面談を実施します。学習態度の改善の見込みがないと判断された場合は、自主退学を勧告します。**」という基準があります。
- 1セメスターの修得が12単位未満の場合、“履修条件A”の対象にもなります(『履修のてびき』22ページ)。
「履修条件A:1セメスターの修得単位が12単位未満の場合、原則として3セメスター以降に開講される科目を履修することはできません。」

①情報学部で取得できる教員免許状

情報システム学科	・高等学校一種「情報」 ・中学校一種「数学」・高等学校一種「数学」
情報社会学科	・高等学校一種「情報」
メディア表現学科	・高等学校一種「情報」

※情報社会学科生、メディア表現学科生が情報システム学科の科目を履修することで「数学」の免許状を取得することも可能

②教員免許状の取得には、教職課程履修登録が必要です

無登録で教員免許状を取得することはできません

③教員免許状の取得には、授業料のほか、教職課程履修費が必要です

④教員免許状の取得には、卒業単位数よりさらに多くの単位取得が必要です

詳細は月曜5限「教職概論」で説明します。
興味のある方は必ず出席してください。
(説明を聞いたうえで登録しなくてもかまいません)

履修のてびき
P.167～

情報学部で取得できる教員免許状については、『履修のてびき』167ページ以降をご覧ください。

教員免許状の取得を目指すには、**教職課程履修の登録**が必要です。

また、取得する免許状に応じて**課程履修費の納入**を要します。手続きは別途ご案内します。

教員免許状の取得には、単に卒業するよりも大幅に多くの単位取得が必要ですし、教育実習等に参加しなければなりません。

淡い期待だけで取得を目指すのは困難といえます。

教員免許状取得に興味のある方は月曜5限の「教職概論」(松本浩之先生)を履修登録してください。詳細はそちらでのご案内します。

わからないことがある場合は、
教育支援課にご相談ください。

本日の資料は、教育支援課のウェブページに
掲載しますので、繰り返し確認し理解を深め
てください。

ご清聴ありがとうございました。